

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年一月度 入選句（投稿総数三千百五十五句・小中学投句数二千六百十七句）

特選

選者 遠藤 幹郎

雪ふって畑の野さいうもれてる 大垣市 いけいど あや(小三)

「畑の野さいうもれてる」が、眼前の実景をよくとらえて表現できました。特に、“うもれてる”というところがいいですね。降り積もった雪にほとんど埋まってしまった中に、わずかに、野菜のみどりの葉っぱが顔をのぞかせている情景が浮んできます。雪の白、野菜の緑の色彩感もでていて、雪の静かなようすが想像されます。

焚火してみんなのえがおとりもどす 大垣市 伊藤 千生(小四)

この句を読むと、「さざんかさざんか…たき火だたき火だ…」の唱歌が思い出されます。この句では、「みんなのえがおとりもどす」が、いいですね。“焚火(冬の季語)”と、“えがおをとりもどす”とがよくマッチしています。焚火をとりかこんだみんなの顔に笑顔がよみがえったというのです。いいですね。

冬の夜輝やく空は星の海 美濃加茂市 渡辺 さら(中二)

冬の夜空の情景です。よく晴れた空を見上げると星が空いっぱい広がって、無数の星が光り輝やいているよというのです。その星の数々が、冬の寒い夜空を“海”にたとえたところもいいですね。みなさんも、戸外に出て寒い夜空の星の数々を見ながら一句を作ってみてください。

秀逸

北風がぼくの体をふるわせる 大垣市 石黒 巧晟(小四)

初雪で授業が中だん大さわざ 大垣市 小久保 友愛(小四)

白川のかやぶきやねに雪つもる 美濃加茂市 佐藤 颯真(中三)

こがらしが私の頬をかすめゆく 美濃加茂市 藤巻 桃子(中三)

ポケットに悴むその手引き寄せる 美濃加茂市 渡辺 留妃(中二)

よせなべを家族みんなでかこんでる 大垣市 高田 結衣(小四)

おいしいなおせちりようりは母のあじ 大垣市 いとう のあ(小三)

あったかい手ぶくろよりもママの手が 大垣市 梅田 悠有(小三)

ゆきだるまおふるの手ぶくろにあってる 大垣市 小林 奈央(小五)

ふくわらい犬のあくびとそっくりだ 大垣市 大和田 真瑚(小一)

入選

かぜがふくおちばのじゅうたんおどりだす 大垣市 安田 たつき(小三)
 冬の雨車のまどがらくがきちょう 大垣市 高木 美咲(小四)
 初雪にあしあとつけてとうこうだ 大垣市 林 あいな(小四)
 鹿せんべい鹿にかこまれせがまれる 大垣市 太田 博士(小六)
 かまくらは子ども達の秘密基地 美濃加茂市 林 亮 佑(中二)
 とおくから心にひびく除夜の鐘 美濃加茂市 今田 悠 登(中三)
 町中がキラキラ輝く冬の夜 美濃加茂市 藤掛 莉果(中二)
 霜柱キラリと光る通学路 美濃加茂市 鈴木 利奈子(中二)
 手のひらにそつととけこむ白い雪 美濃加茂市 杉山 詩織(中二)
 日にあたる水門川の冬桜 大垣市 日比野 歩実(小六)

入選

川灯台見上げて見ればもみじある 大垣市 棚橋 紗菜(小六)
 カモの群れ川のながれにさからって 大垣市 松久保 拓斗(小六)
 雪だるまみんなならんでせいくらべ 大垣市 酒井 七海(小四)
 お年玉もらったとたんおあずかり 大垣市 堀 達 喜(小四)
 かきぞめでちかったたねがいかなえるぞ 大垣市 清水 もも(小三)
 正月にくつきり見えたいぶき山 大垣市 新井 ひまり(小三)
 大みそかおねえちゃんのバースデー 大垣市 青柳 あやね(小四)
 雪だるま家族の人数つくったよ！ 大垣市 渡辺 凜 歌(小五)
 ゆきだるまぼくのせよりもでっかいな 大垣市 ますだ とうま(小二)
 はつげいこいろおびめざしきあいます 大垣市 月森 亨 介(小二)

選者吟

雪 囲 ひすこしかたむき冬牡丹

幹 郎